

2021年2月26日

各位

**2型糖尿病治療剤 カナグリフロジン (TA-7284) について
台湾における糖尿病性腎症の承認取得のお知らせ**

田辺三菱製薬株式会社（本社：大阪府中央区、代表取締役社長：上野裕明、以下「田辺三菱製薬」）は、2型糖尿病治療剤「CANAGLU[®]」（以下、「カナグル」、国際一般名：カナグリフロジン、日本製品名：「カナグル[®]錠 100mg」）について、連結子会社である台田薬品股份有限公司（本社：台湾 台北市、代表 総経理：朱宏祥/Tony Chu、以下、「台田薬品」）が、台湾における糖尿病性腎症の新規効能の承認を2月1日に取得しましたので、お知らせします。

今回、効能追加となった糖尿病性腎症は、糖尿病の三大合併症の1つであり、腎臓の血管障害に起因して腎機能低下を引き起こし、最終的には透析療法を要する疾患です。糖尿病の患者数の増加に伴い、本疾患の患者数も増えており、透析療法を導入する最大の原因となっています。これを改善するための治療法を開発することは、患者さんのQOLのみならず、医療経済的な観点からも重要な課題となっています。

カナグルは、当社オリジンの2型糖尿病治療剤であり、台湾においては2017年3月に承認を取得し、2018年3月より販売を開始しています。

糖尿病性腎症の適応としては、本剤の導出先企業によって、既に世界49か国以上で承認を受けており、日本においては、当社が現在、第3相臨床試験を実施中です。

台田薬品は1987年の設立以来構築してきた生活習慣病領域の基盤を活用して、カナグルを提供することによって、2型糖尿病患者さんの治療に貢献してまいりました。台湾では、末期腎不全（ESRD）の発症率ならびに有病率が世界第一位^{*}であり、透析費用は医療財政に大きな影響を与えています。また、糖尿病患者も220万人を超え近年増加傾向にある^{*}ことから、糖尿病性腎症は一刻も早く解決すべき課題となっています。

当社グループは、増加傾向にある世界の糖尿病患者さんに対して、治療の選択肢を提供することで、患者さんの生活の質を高められるよう努めてまいります。

*2019 Taiwan Clinical Practice Guideline for Diabetic Kidney

以上

田辺三菱製薬株式会社 広報部

（お問合せ先） 報道関係者の皆様

TEL：06-6205-5119

◆参考◆

■カナグリフロジン（日本製品名：カナグル[®]錠 100mg）について

2 型糖尿病治療剤「カナグリフロジン」（国際一般名：カナグリフロジン、日本製品名：「カナグル[®]錠 100mg」）は、田辺三菱製薬が創製した世界初の経口 SGLT（ナトリウム-グルコース共輸送体）阻害物質 T-1095 をルーツとする日本発の SGLT2 阻害剤です。本剤は、腎臓の尿細管において糖の再吸収に関与するトランスポーターである SGLT2 を阻害することで、糖の再吸収を抑制、尿中に過剰な糖を排泄し、優れた血糖低下作用を示す薬剤です。日本では、2014 年 7 月に製造販売承認取得し、台湾においても 2017 年 3 月に承認を取得しています。

■台田薬品（台田薬品股份有限公司/ Tai Tien Pharmaceuticals Co., Ltd）

台田薬品は 1987 年に台北市に設立され、ヘルベッサ[®]やコンコール[®]（日本名：メインテート[®]）、リバロ[®]などを販売してまいりました。特に、主力である生活習慣病領域の基盤を活用して、カナグル[®]の発売を機に、台湾の 2 型糖尿病患者さんの治療に貢献しています。